

がんばろう
南三陸町
復興第3号

南三陸マイタウン情報

発行所
マイタウン企画
本吉郡南三陸町戸倉字町 57
TEL (46) 8690
後援:
志津川広報センター



みんなて伊小ソーランを踊る

伊里前小・名足小 「合同スポーツ大会」 (11月12日・しおかぜ球場)



残った歌津大橋から伊里前市街地を臨む(3月19日頃)

歌津地区の子供たちの元気な声響く!



●●● 南三陸町からの発信 ●●●

♥冬 対 策

多くの冬への物資が仮設に届く。ストーブ・灯油・毛布などがあつた。しかし、自宅が残り被災した人への支援物資がないと、ある地域の方が激怒していた。被災地の地域・種類による現実の厳しさを行政が把握していないという事も多々ある。今年の寒さの厳しさを予想懸念する。

入谷中の仮設には町の調査員の方が、生活の聞き取り調査に歩いていた。こまめに被災者の状況把握が「二次被害」を防ぐ最大の活動です。町の社協の福祉支援を高める事も忘れてはいけない。



歌津大橋と瓦礫撤去された歌津市街地

♥路線価下落

「路線価」が公開された。南三陸町は75%の下落で、最大は女川の80%となった。千葉県でも40%の減少で、今回の「東日本大震災」の影響の広さ大きさがある。阪神淡路の大震災でも20%の減少と比べても、住み慣れた場所での生活経済の厳しさがある。路線価は「相続税」「贈与税」などの各種税の参考対象価格となり、被害者の税の軽減となる。南三陸町は最大で75%の減で、地域により35%と全域に、評価が下がった。



年内の早期開店を目指す伊小下の伊里前商店街

仮設商店街は来年になる。住民は商店の復活を強く望むが、震災後早々に話はあつたものの、遅々として建設には至っていない。志津川の消防署裏、歌津公民館跡地と、仮設からの買い物は遠く厳しい。被災者の住む仮設建設場所は、58か所にも点在し、登米仮設は近くに多くの商店があるもの、被災地での街中の買い物はいまだに不便であり、高齢者には大変である。冬に向け雪道となることを考えると多くの不安を思う。

◇町長「地域の声を聴く」

被災した戸倉中学校と志津川中学校の統合を質された町長は、地域の声を聴いてから一と話し、24年度は志津川中学校で授業を行う方針を示した。

◇伊里前商店街オープン

津波でほとんどの店舗が流失した歌津の伊里前商店街が10月8日仮設テントで再開した。今回は仮オープンで15日に正式オープンとなる。来月、歌津公民館跡地に中小企業基盤整備機構が整備する仮設店舗が建つ予定になっている。

◇中田中学校から義援金

登米市立中田中学校1年3組の生徒が6日町長を訪ね、義援金12万7000円を贈った。被災した同町の中学生を励まそうと、クラス行事として同市のイオンタウンで“大きなことは出来ないけれど”をスローガンに募金活動してくれたものを、町長に手渡した。

◇育てたトマト「凜々子」で料理

10月11日伊里前小学校では、自分たちで育ててきたトマトを使って調理実習をし、食べ物の大切さなどを学んだ。カゴメが、被災した子供たちに笑顔を取り戻してほしいと、食育支援活動の一環として企画。調理し、出来上がった料理は同小の仮設住宅、同じ校舎で勉強している名足小学校の児童にも振る舞われた。

◇歌津中仮設住宅ネット利用可能

歌津中学校前の仮設住宅で、インターネットが使えるようになった。回線をルーター無線で結び、一度に多くの人利用可能。家々が近い仮設ならでのシステムで、通信料も参加世帯で分割するため、格安になる。

◇志津川中、修学旅行で都庁訪問

志津川中学校の3年生が修学旅行で東京都庁を訪問。東日本大震災で支援を受けた職員に感謝を伝えた。都庁には89人の生徒全員が訪問。このほか、ちゃんこ鍋を提供してもらった大相撲の芝田山部屋、布団、図書などを贈ってくれた在日チリ大使館、今後交流予定がある西町インターナショナルスクールを教職員が訪問。生徒が作ったメッセージカードなどを贈り、学校の様子などを伝えた。

県議選本吉気仙沼地区結果

| | 南三陸町 | 気仙沼市 | 計 |
|------|-------|--------|--------|
| 境 恒春 | 562 | 6,445 | 7,007 |
| 内海 太 | 421 | 8,812 | 9,233 |
| 畠山和純 | 990 | 9,599 | 10,589 |
| 今野雄紀 | 2,673 | 1,281 | 3,954 |
| 計 | 4,646 | 26,137 | 30,783 |



◇殉職の消防団員 慰霊式

東日本大震災で殉職した消防団員を悼む消防殉職者慰霊式が、6日ホテル観洋で行われた。遺族や団員ら約600人が参列した。日本消防協会から顕彰状、県消防協会から現場功労賞が遺族に手渡され、地域の生命、財産を守るため、最後まで消防活動に身をていした功績を称えた。

◇長期支援に感謝

東日本大震災に伴う救援物資の受け入れを停止した。すべての避難所が閉鎖されたことによる措置。町長は長期にわたる支援に感謝の意を表した。



歌津地区 復旧工事加速

仮設の西光寺さん

歌津郵便局・旧消防署前の多くのボランティア

ふるりの伊里前川に鮭が帰って来た!

歌津地区が津波で瓦礫に覆われた(3月16日頃)